

## 上小国地区ビオトープ池の転落防止柵設置作業

令和3年8月2日（月）に外ヶ浜町上小国地区にあるビオトープ池で上小国地区環境公共推進協議会の会員達により転落防止柵の設置を行いました。

このビオトープ池は、平成20年から平成24年にかけて実施されたほ場整備事業を契機として、魚類や昆虫類などの多種多様な生き物の生息環境を保全するために、当時、活用されていなかったため池を整備し造成されました。

しかし、近年は経年劣化によって、護岸や橋の損傷が見られ、ビオトープ池の機能が低下し、例年実施されている地元の子供たちに向けた生き物観察では、安全に観察できないといった問題が発生しています。

そのため、県の「ふるさと水と土保全対策事業」を活用し、本来のビオトープ池の機能を回復させるために、毎年少しずつ上小国地区環境公共推進協議会のメンバーによって補修作業を実施してきました。

令和3年度は、令和4年度と2年計画で、地元の子供たちが安全に観察会を行うために、2つあるビオトープ池の周りに転落防止柵を設置する予定としており、今回は、その内1つの池の周りに転落防止柵の設置を行いました。

今回の作業は、転落防止柵の構造が冬期の積雪にも耐えるよう、外周およそ100mのビオトープ池の周りに1m間隔で、あらかじめ穴あけ加工が施された木杭を打ち込んでいき、その木杭の穴にロープを通すといった作業を行いました。

木杭の設置は、穴の向きや、打ち込む深さを揃えなければならないため、上小国地区環境公共推進協議会の会員達も最初は悪戦苦闘している様子でしたが、コツをつかんでからはスムーズに作業を行えました。

木杭を打ち終わり、ロープが通された転落防止柵は、きれいで、堅牢な仕上がりとなり、苦労して設置した甲斐があったものとなりました。

来年度は、残りのもう1つのビオトープ池の周りに転落防止柵を設置する予定で、これによって安全に地元の子供たちが、生き物の観察会を行えるようになることが期待されます。



木杭を設置する様子



完成後の様子

「環境公共」HP

<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>



地域づくりの新しいかたち  
**環境公共**  
環境に貢献する農林水産公共事業